

## 心房細動治療に於ける、box 拡大肺静脈隔離法の意義に関する検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

### 1. 研究の対象

2015年9月～2022年1月に当院で心房細動に対するボックス型肺静脈隔離術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

当院で心房細動に対しボックス型肺静脈隔離術を施行した患者さまを対象として、患者さまの背景及び施術時の所見と、術後急性期及び慢性期の不整脈再発の関係を調査させていただきます。対象患者さまにおける急性期及び慢性期の心房性不整脈再発危険度の術時所見因子や患者背景因子依存性を解明することを目的としています。

研究実施期間：施設院長承認後より 2024年6月30日

### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

### 4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、心エコー所見、術中の電気生理学的所見、不整脈等の発生・再発の有無 等

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

氏名：加藤千雄（研究責任者）

病院名・所属、職位：名古屋徳洲会総合病院・循環器内科 部長

住所：春日井市高蔵寺町北 2-52

連絡先：0568-51-8711

(2024年4月8日作成 (第2.0版))